

フダンシズムとは

今回の展示では
腐男子という言葉から派生した
「フダンシズム」
という造語を足がかりに、
この構造を捉え直し、
BL をとりまく社会背景までもも含め言及します。

BL(ボーイズラブ)とは、1970年～1980年代ごろに発生した、
男同士の恋愛をテーマにした漫画ジャンルです。
以前は、オタク同様、影に隠された趣味嗜好でしたが、
現代では美術雑誌やTV、書店などでも扱われ、広く認知されるようになりました。

BL 消費者の多くは女性であり、彼女たちは腐女子と呼ばれています。
男性でありながらそうしたBLを消費する人達を「腐男子」と呼びます。
フダンシズム展という展示名ですが、今回の参加アーティストは男性だけではありません。
BL を消費する腐男子に加え、腐女子や BL に触れたことのない作家も参加し、
「フダンシズム」に象徴されるような現代のセクシュアリティを、
作家個人の文脈で捉え直し、展示全体を通して思考していきます。



<展示作品ステートメント>

近藤 拓丸



仮想空間上でファンタジーを作成し、それをミックスしてアウトプットするという手法で作品をつくっています。
その構造は自分がBLを消費する時の構造と似ているところがあります。

森田 緩乃



無垢な魂はやがて何かを得、何かを失う。
この世界は、常に不安定で、未成熟で、揺らいで、危うい。いびつな魂は、失った何かを埋めるために生きようとする。それはもう取り戻せない、のかもしれない。
それでも生きる。
私はそんな魂の質の再現を試みている。

瀧 大海



男性がBLを消費する時、自己の投影を行う場合がある。男性が持つことのできなかったシンレラストoryにBLはなり得る。
私は自身の理想像を絵画として展示する。

とわ すずか



BLに興味を持つなんておかしなことだってわかっている。多分、いないはずのお父さんを求めて、たどり着いた結果。
じゃあお父さんが、私をもう一度産んでくれたなら、戻るかもしれない。
だからお父さん、もう一度私を産み直して。

日山 亮佑



支持体は作家のわがままを受け入れる女性性です。
男性である私はそんな寛大な女性に憧れて女性性を視覚化します。



安川 源

テクノロジーの発達に伴って個人化が進む現代の、ナルシスティックな性消費を思考するパフォーマンス作品。
BL 漫画を音読した音を重ね、自分一人で完結する世界を多面的に増幅させる。



岡野 山佳梨

男性の肉体的要素、女性の投影する性の矛盾からリアルなゲイからBLへの変身を描きます。

DadA Turns 100 yEars celebRation in toKYo "DUST BUNNY"

The joint exhibition "fudansh(i_i)zm"



<http://www.st-dustbunny.com>